

授業展開案 高等学校国語「国語総合」

1 テーマ

コピーを作る

2 I C T 利活用のねらい

コピーの作り方や作品例は教科書にも記載されているが、I C T を活用することで、効果的なコピーの作り方をより分かりやすく伝えたり、コピーが日常生活のあちこちに見られることに気付かせたりすることができる。さらに、生徒が作ったコピーを電子黒板に映し出すことによって、作品を皆で鑑賞し、伝えたいことを効果的にアピールできているか確認することができる。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板，学習者用端末

②教材：「コピーライターになろう」(Microsoft PowerPoint)

「コピーライターになろう」(Microsoft Word)

4 I C T 利活用の場面

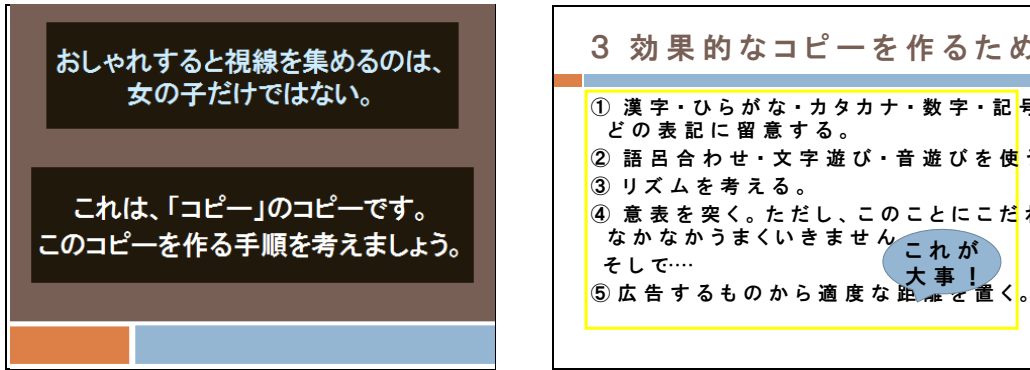
| 学習内容 | I C T 利活用の場面 |
|--|---|
| <p>コピーとは何かを知る。</p> <p>コピーの作り方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピーの作り方 ・コピーの例①(教師が作成したもの) <p>実際に使用されているコピーに触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピーの例②(実際に使用されているもの) <p>コピーを作る。</p> <p>作ったコピーを発表する。</p> <p>効果的なアピールがなされているか確認する。</p> | <p>①説明の補助：コピーの作り方の順序を説明する。</p> <div data-bbox="769 1211 1264 1581" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">2 コピーの作り方</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広告するものを選びます。 ② ①の特徴を考えます。この時、いろいろな角度から考察して特徴を書き出しましょう。 ③ ②で考えた特徴に対して連想を働かせます。グループでブレインストーミングするのもよいでしょう。 ④ 原案を作ります。 ⑤ 表現や表記を工夫して、最も印象的なものになるまで推敲します。 </div> <p>②表現活動：学習者用端末の画面を電子黒板に転送して発表させる。</p> |

5 I C T 利活用のポイント

①説明の補助

コピーの作り方を説明する。その際に、ただ順を追って説明するだけではなく、教師が作成したコピーを例に挙げると生徒の興味・関心を引くことができると考えられる。

また、企業等が実際に使用している有名なコピーも提示し、何の宣伝をしているのか生徒に考えさせてもよい。



②表現活動

学習者用端末で生徒が考えたコピーを電子黒板に転送して発表させる。作品を映し出すことで、作成の意図が説明しやすくなったり、効果的なアピールがなされているか等の確認が行いやすくなったりすると考えられる。